



がん講座、学校、企業、福祉、医療従事者へ向けて・・・  
これまでに**60回以上**の講演で  
**観客動員数 2710名**  
地元メディアに何度も取り上げられた  
感動の講演劇が **再び東京**へ・・・！

白石いづみ講演劇

# 神様からのプレゼント

白血病が教えてくれたこと

私は、27歳のとき、**白血病で「余命1ヶ月」**の宣告を受けました。あれから十数年が経ち、今、元気いっばいに生きています！

そして、白血病の経験を通して感じた  
**【自分のいのちを生きるということ】**を  
講演+劇=講演劇というスタイルで  
表現する活動を続けています。

それは、**あの同じ病室に入院していた仲間が教えてくれたこと**でした。

8つ年下の恵美ちゃんは、がんで2年くらい入院していたけれど担当の先生のことが大好きで、いつも先生の顔を真っ赤にして話してくれていました。

上牧瀬さんは、入院しているお姑さんのお見舞いに来るとき、一度みんなに海鮮丼を作って持ってきてくれたことがあったんですよ！

私は、お姉ちゃんが隣にいても、海鮮丼をがつついて食べてましたけど、山筋さんは「旦那に食べさせてあげたい」と言っ自分は病院食を食べて、昼にご主人が来るまで残してたんです！

**あの病室にはいっばいの愛がありました。**

でも、深夜になるとどこからともなくカーテン越しに誰かのすすり泣く声が聞こえてくるんです。私の泣き声も、もしかしたら周りに漏れ聞こえていたかもしれません。

だからと言ってあの病室にいた仲間は、そして私は、

**がんと【闘って】いたわけじゃない。**

【がんになった自分】として  
泣きたいことや、辛いこと、楽しいことや嬉しいこと。  
それらのたっくさんの感情を味わいながら  
自分のいのちを生ききっていたんじゃないかって思うんです。

そしてまた翌朝にはみんな病室でニコニコ笑っていらしたんですよ。看護師さんから「笑い声が響いてうるさいですよ！」と言われるほどに。

**【病気だとか、健康だとかそんなの関係ない。  
どこにいても、どんな状況の中にあっても  
人は、幸せを感じながら愛の中で  
自分の命を生きることができるんだ】**

恵美ちゃん、山筋さん、上牧瀬さんはじめ、大切な仲間との出会い、そして起こった出来事すべてがそのことを私に教えてくれた神様だったんじゃないかと思っています。

再び与えられたこの命を今  
私は 幸せを感じながらじゅうぶんに生ききっています。

だから、私は、この講演劇を通して  
たくさんの人に届けていきたいんです！！

**【あなたの命を生きるということを】**

(※ 個人名の掲載はご家族の了承を得ております。)

**9.7** 月 18:30~20:30  
(18:00 開場)

お申し込み：お一人**2,500円**

KK<sup>2</sup>有料メンバーは上記金額から500円引

場所：霞が関ナレッジスクエア スタジオ  
(東京都千代田区霞が関3丁目2-1)

お問合せ：080-5803-0912 (白石いづみ事務局)

KK<sup>2</sup>Web サイト <http://www.kk2.ne.jp>

KK<sup>2</sup> エントリー  
プログラム





白石いづみ  
講演劇家  
劇団凧座長  
リラクゼーションサロン  
Teresaセラピスト

プロフィール

1973年 鹿児島県 薩摩川内市生まれ  
金融機関に勤めていた27歳のときに  
発症した急性リンパ性白血病。余命  
1ヶ月と宣告された体験から感じたこと  
を、講演と演劇をミックスした講演劇と  
いうスタイルで「神様からのプレゼント  
～白血病が教えてくれたこと～」と題し  
各地で伝えている。

また、「大好きなひとにもしてあげたくな  
るハンドケア講座」の講師でもあり、仕

事で張り詰めている人や、相手を癒して  
あげなきゃいけないと 一生懸命になっ  
ている人に、リラクスの連鎖を起こす  
方法を面白おかしく伝えている。

夢は、「今、いろんな事情で心がシュンと  
して、笑顔が出せなくなってしまってい  
る人に、講演劇やハンドケア講座を  
通じて会いに行き、そして、大病をし  
ても、世の中には元気な人がいるもんだ  
と呆れてもらうこと」と語る。好きな言葉  
は「天真爛漫に濃く太く生きる」

オフィシャルホームページ <http://dunchan.net/>

～講演劇をご覧になった方からの感想～

話を聞き、涙が出ました。  
私も自分らしく生きていこうと思いました。  
とても素敵な時間をありがとうございました。

(20代 男性 幼稚園教諭)

泣いたり笑ったり、大忙しの時間を過ごせました。  
そして、今の自分のことを考えました。  
心が元気なら幸せだとわかったら、  
どんなところでも私は大丈夫なんだと思えました。  
最後、目を閉じていた時にも涙が止まりませんでした。  
自分に嘘をつきたくない。そう思いました。

(30代 女性 会社員)

(かつてのいづみさんと同じような)  
グチを言っています。  
驚いてしまいました。感じてはいるけれど、  
行動できない自分が残念だと思ってます。  
少しでも変化したいと・・・

(40代 女性 事務職)

私は教員から教頭になり、仕事の忙しさ、  
家庭の問題などで「うつ」病になりました。  
病気になったときは辛かったですが、今は  
白石さんと同じように良かったと思えるよう  
になりました。なんとなく「ホッ」とできました。  
これからの人生充実させて笑顔で過ごせそうです。

(40代 男性 教員)

【会場地図】



KK<sup>2</sup> Webサイト <http://www.kk2.ne.jp>

いづみさんの  
ホームページ <http://dunchan.net/>